

2大学、2高校と宗像市それぞれの取組みと想い

学校法人 日本赤十字学園 日本赤十字九州国際看護大学 地域との交流を通して学生が 学び合える機会づくりを



赤十字の「人道」を理念とする本学は、人材育成や研究の成果を社会に還元すべく、地域の方に向けた公開講座や、臨床で活躍する医療従事者のニーズに応じた専門講座を開講しています。また、小学生対象の看護師体験等を通じ、未来を担う若者の健康意識やキャリア観の醸成に努めています。これらの講座等では、学生がスタッフとして運営に携わるほか、市主催イベントでボランティアを行うなど「大学のあるまちづくり」に積極的に参加しています。学生にとって市内で生きる様々な方々との交流は、看護職者として必要な自己教育力やチームで働く力などを身につける貴重な機会となっています。

国立大学法人 福岡教育大学 地域の協力と共に学生の 実践力を養う教員養成大学



教員養成大学である本学は、地域の協力によって、教育実習や学習支援ボランティア活動等、学生の実践力を養う取り組みを行っています。また、本学は、地域からの要望に応じて、研修会等の講師や出前授業など、地域の様々な活動に寄与することを目的として教職員の派遣を行っています。今後も社会との連携を推進し、その連携によって得られた成果を本学の教育・研究活動に活かし、地域の様々な活動に還元していきます。むなかた大学のまち協議会では、異なる特色や魅力を持つ大学や高等学校との交流があり、将来教員を目指す学生にとって多様な価値観に触れることができる貴重な学びの場となっています。

東海大学付属福岡高等学校 主人公は生徒！ ～地域とともに歩む学校～



宗像市と4つの教育機関で行われる「ポップアップキャンパス」は私たちに様々な可能性を与えていただきました。同世代の方々やいろいろな世代の方と交流させていただくことで、さまざまな問題に対して、それらを自分の問題としてとらえ、多様な人々と協働しながら解決にあたる経験ができています。実際に参加した生徒たちからは、大人では思いつかないような豊かなアイデアで溢れていました。これからも積極的に行動し、地域のみならず東海大福岡ならではの生き生きとした姿を発信していければと思います。ご協力できることがありましたら、ぜひお願い致します！

福岡県立宗像高等学校 『地域と共に』



宗像のまちで105年目を迎える伝統校で、勉学に部活動に活発な教育活動に取り組んでいます。地域の皆さまと歩んだ歴史を次の世代にも繋げていける学校づくりを目指しています。地域との繋がりの一環として、近隣の小学生の夏休みの宿題を高校生と一緒に取り組む活動を行っています。また、年末には日頃からお世話になっている地域住民の方々に感謝の気持ちを込めて部活動生・生徒会・有志生徒で清掃ボランティアを行っています。このような活動を通して地域で活躍できる人材の育成に励んでいます。

宗像市 まなびから生まれる まちづくり



市民力を生かしたまちづくりを推進するため、宗像市では市民、自治会、コミュニティ運営協議会、市民活動団体、大学、企業と連携した協働のまちづくりを推進しています。その中でも、この「むなかた大学のまち協議会」では、2大学、2高校、市が相互に連携し、さまざまな事業を実施することを通じて交流を深め、新たな価値を生み出すきっかけとなっています。今後も、この協力体制を継続・強化しながら、引き続き協働による魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

まなびが まなびが

まなびが
開放されたまち、
むなかたを
目指して



むなかた大学のまち協議会

まなびが開放されたまち、 むなかたを目指して

むなかた大学のまち協議会とは

宗像市内には福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡県立宗像高等学校、東海大学付属福岡高等学校があり、2002年に宗像市と2大学で「むなかた大学のまち協議会」を設立し、2006年から2高校が賛助会員として参加しています。

大学や高校が持つ教育機関としての機能や情報を広く地域社会に開放し、地域と大学等が一体となり、まなびからはじまる魅力ある宗像市を創造するため、各校、地域の方々とともにさまざまな連携事業に取り組んでいます。

むなかた大学のまち協議会の活動紹介

ポップアップキャンパス

学校とまちを繋ぐ、 学びの場

大学生や高校生が地域の現状や課題を学び、考え、意見を交換できる場として、令和元年度から「ポップアップキャンパス」を実施しています。学生、生徒同士だけでなく、宗像で活動する企業や団体との交流を通して、新たな考え方に触れることができる機会となっています。



コミュニティ役員・ 自治会長合同研修会

市内12地区の役員・ 自治会長が集う場で

市内12地区のコミュニティ運営協議会役員と自治会長が集い、地域が抱える課題や情報を共有する研修会に高校生、大学生が参加しました。地域で活動する方たちの想いを直接肌で感じ、自分たちが住んでいる地域の現状や課題について改めて考えるきっかけとなりました。



むなかたSDGs教室など

外部団体と連携して 地域活動に参加

外部団体と連携し、学生ボランティアとしてさまざまな地域活動や社会貢献活動に参加しています。多くの活動を通してより学びを深めるだけでなく、地域で働く社会人や子どもたちと関わる第一歩へと繋がっています。



その他、各校と地域が連携していること

ルックルック講座

市民が行う研修会や学習会などに、大学、市民活動団体、民間企業等から専門的な知識や技術を持った講師を派遣する、宗像市独自の出前講座です。市民の学びたい気持ちに応えるため、2大学の講師による講座を数多く開催しています。



大学生の力による 『まちの課題解決プロジェクト』

「大学と協働したまちづくりの実践」を目指し、令和3年度から宗像市と大学が協働で開始したプロジェクトであり、大学生の自由なアイデアを宗像のまちの元気につながる取り組みです。まちの活性化や課題解決に向け、市内2大学、市外4大学の専門性を生かし、多数の画期的なアイデアが提案されています。



むなかた子ども大学

宗像市内の小中学生が、大学や企業などさまざまな分野で活躍する講師の方から、自分の好きなことや興味のあることについて学ぶ「むなかた子ども大学」にて、教員はコースの講師として講義や体験活動を提供し、学生は運営や子どもたちのサポートという形で協力しています。



イベントに参加した 学生たちの声・ まちのみなさんの声

地域プロジェクトを通じて参加した学生たちと企業のみなさんから感想をいただきました

大学生や社会人として働いている方から普段の学校生活では聞くことができない様々な話を聞くことができ、貴重な機会となりました。(高校生)



地域には自分たちのアイデアや熱量をぶつけることができる大人がいるという実感をもってもらうひとつのきっかけになれば嬉しいです。(参加企業)



もっと多くの考え方に触れ、自分の意見を主張できるよう成長していきたい、とこれまでの考えを見つめ直す機会となりました。(大学生)



学生からのさまざまなアイデアに触れることができ、こちらも学びの多い一日となりました。(参加企業)

